

ヒロセ電機 2023年3月期第2四半期 決算説明会

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明会

**2022年11月4日**

**ヒロセ電機株式会社**

[6806]

## 注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

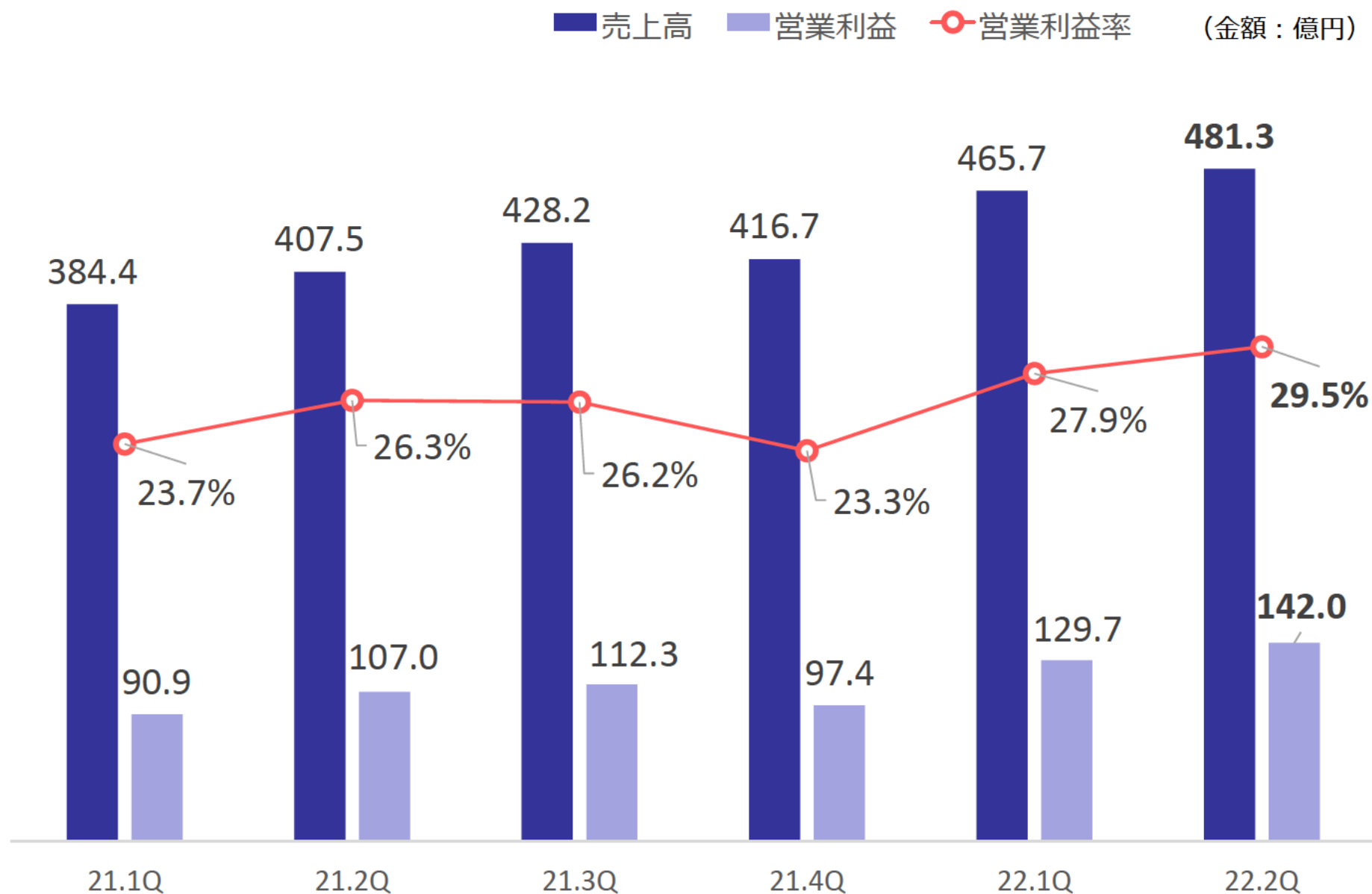
## 業績サマリー (2022年度 第2四半期累計 2022年4月～9月)

- 2022年度第2四半期は、一般産機向け・スマートフォン向け・自動車モビリティ関連向けの伸長により、第2四半期累計 対前年比 売上 + 20.0%・営業利益 + 37.3%、営業利益率 28.7% となりました。

(金額：億円)

	2021年度			2022年度			前年同期比
	1Q (21.4-6)	2Q (21.7-9)	上期 (21.4-9)	1Q (22.4-6)	2Q (22.7-9)	上期 (22.4-9)	2022.2Q累計 / 2021.2Q累計
受注	498.4	534.9	<b>1,033.3</b>	488.2	427.0	<b>915.2</b>	-11.4%
売上	384.4	407.5	<b>791.9</b>	465.7	481.3	<b>947.0</b>	+19.6%
営業利益	90.9	107.0	<b>197.9</b>	129.7	142.0	<b>271.7</b>	+37.3%
営業利益率	23.7%	26.3%	<b>25.0%</b>	27.9%	29.5%	<b>28.7%</b>	+ 3.7pt

## 売上・営業利益推移 (2021年度1Q~2022年度2Q / 連結ベース)



## 2022年度 第2四半期累計 連結決算概要

(金額：億円)

	2021年度2Q累計 (2021/9月期)	2022年度2Q累計 (2022/9月期)	増減額 (対前年同期比)	増減比 (対前年同期比)
<b>売上高</b>	<b>791.9</b>	<b>947.0</b>	<b>+155.1</b>	<b>19.6%</b>
売上原価率	54.7%	50.6%	-4.1%	
販売・管理費比率	20.3%	20.9%	+0.6%	
<b>営業利益</b>	<b>197.9</b>	<b>271.7</b>	<b>+73.8</b>	<b>37.3%</b>
営業利益率	25.0%	28.7%	+3.7%	
<b>税引前利益</b>	<b>203.8</b>	<b>292.5</b>	<b>+88.7</b>	<b>43.5%</b>
税引前利益率	25.7%	30.9%	+5.2%	
<b>当期利益</b>	<b>148.0</b>	<b>206.4</b>	<b>+58.4</b>	<b>39.5%</b>
当期利益率	18.7%	21.8%	+3.1%	
<b>総資産残高</b>	<b>3,657.3</b>	<b>4,012.8</b>		
自己資本比率	<b>87.9%</b>	<b>85.9%</b>		
1株当たり 当期利益	<b>414.96円</b>	<b>594.23円</b>		
				2021年度 2Q
			1US\$	109.80円
			1€	130.90円
			100ウォン	9.64円
				2022年度 2Q
				133.97円
				138.73円
				10.32円

## 2022年度 第2四半期累計 対前年主要増減

## 売上高

**155.1億円 増** (791.9億円 → 947.0億円)

ヒロセ単体 : +130.2億円

子会社 : + 24.9億円

## 売上原価率

**4.1pt 良化** (54.7% → 50.6%)

変動費率 : 39.6% → **37.5%**

減価償却費率 : 8.4% → **7.1%**

## 販売・管理費比率

**0.6pt 悪化** (20.3% → 20.9%)      161.1億円 → 197.8億円 (+36.7億円 増加)

## 金融収益・費用

**14.9億円 良化** (+5.9億円 → +20.8億円) 為替差損益 : +1.3億円 → +13.2億円

## 2022年度 第2四半期累計 対前年同期 変動分析

(金額：億円)

	売上	営業利益	営業利益率	税前利益	税前利益率
<b>2021年度2Q累計 実績</b>	<b>791.9</b>	<b>197.9</b>	<b>25.0%</b>	<b>203.8</b>	<b>25.7%</b>
為替影響	96.4	50.0		62.3	
人件費増		-28.1		-28.1	
減価償却費減		0.4		0.4	
荷造運賃費増		-12.0		-12.0	
物量増	58.7	38.9		38.9	
その他		24.6		27.2	
<b>変動額計</b>	<b>155.1</b>	<b>73.8</b>		<b>88.7</b>	
<b>2022年度2Q累計 実績</b>	<b>947.0</b>	<b>271.7</b>	<b>28.7%</b>	<b>292.5</b>	<b>30.9%</b>

## 連結貸借対照表

(金額：億円)

	科目	2022/3末	2022/9末	増減額	備考
資 産	現金及び 現金同等物	683.9	743.2	+59.3	利益計上のほか、 定期預金からの振替 +106 消費税還付 +41、 自己株取得 △159、配当支払 △99
	営業債権及び その他の債権	434.3	473.8	+39.5	直近月の売上増により売掛金増加
	棚卸資産	216.9	285.1	+68.2	受注増へ対応するため製品・原材料増
	その他金融資産	1,794.2	1,670.2	-124.0	定期預金減少 △106 有価証券の取得・償還 △14
	有形固定資産	611.5	627.1	+15.6	
	使用权資産	49.1	56.4	+7.3	
	その他	157.9	157.0	-0.9	
	合計	3,947.8	4,012.8	+65.0	
	現預金合計	1,967.6	1,920.9	-46.7	

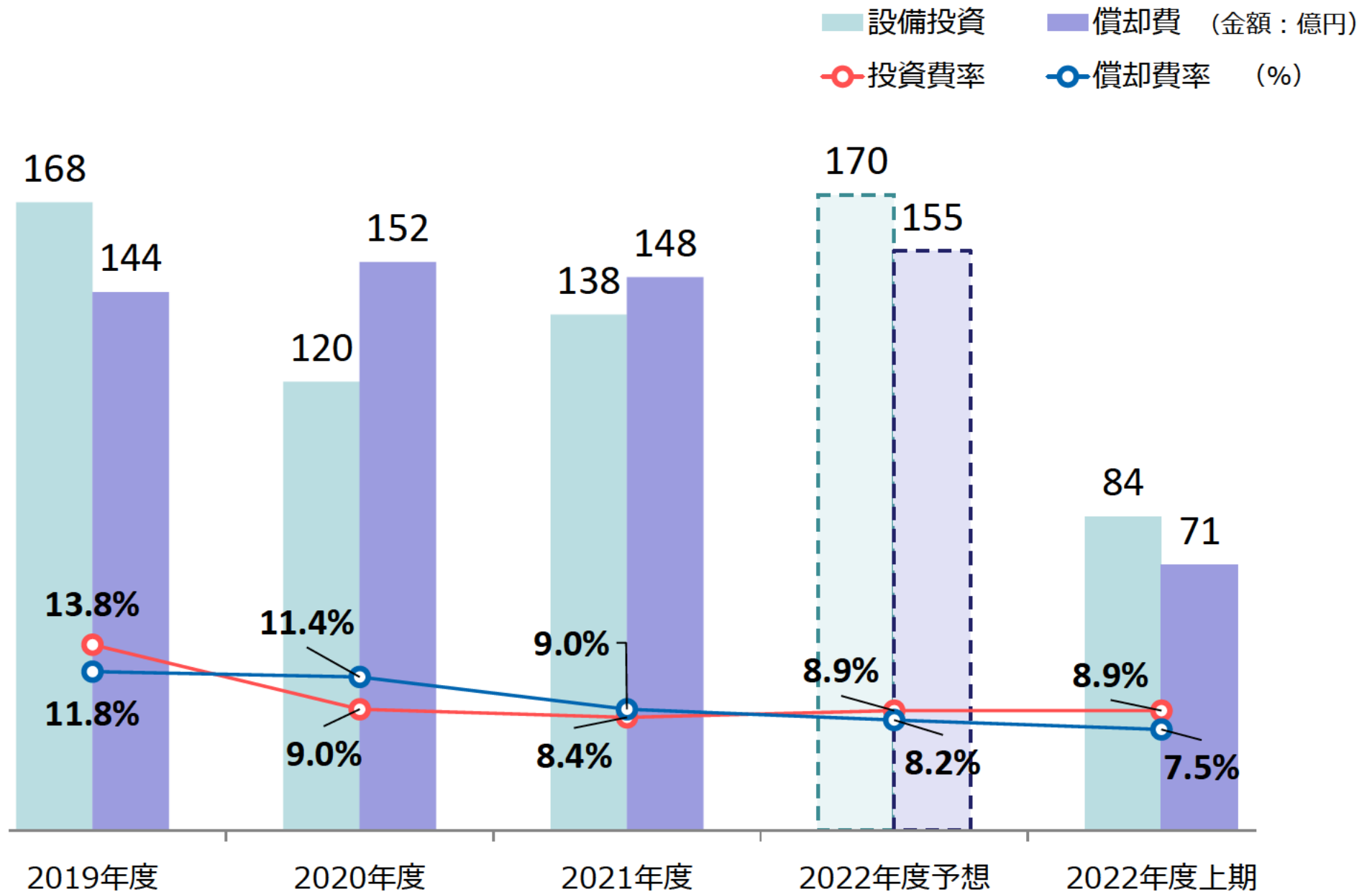


# 連結貸借対照表

(金額：億円)

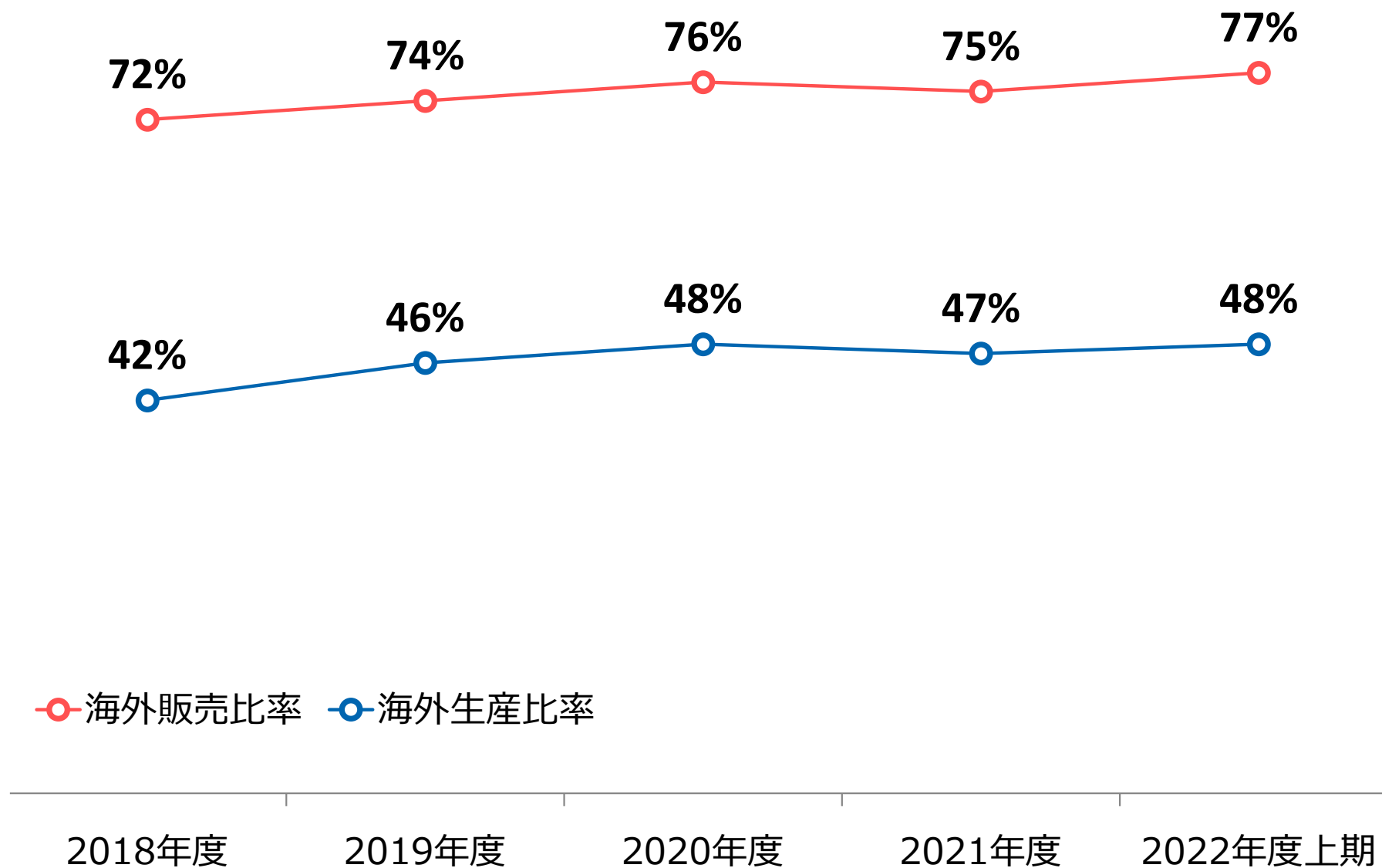
	科目	2022/3末	2022/9末	増減額	備考
負債	支払債務及び その他の債務	238.1	240.3	+2.1	
	リース負債	49.7	56.7	+7.0	
	未払法人税	80.3	87.9	+7.6	
	その他	159.0	180.0	+21.0	
	<b>合計</b>	<b>527.1</b>	<b>564.9</b>	<b>+37.8</b>	
純資産	資本金及び 資本剰余金	206.6	205.7	-0.9	
	利益剰余金	3,388.2	3,382.9	-5.3	当期純利益 +206 配当金支払い △99 自己株式消却 △122
	自己株式	-363.1	-398.9	-35.8	自己株式取得 △159 自己株式消却 +122
	その他	189.0	258.2	+69.2	為替換算調整 +71
	<b>合計</b>	<b>3,420.7</b>	<b>3,447.9</b>	<b>+27.2</b>	
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>3,947.8</b>	<b>4,012.8</b>	<b>+65.0</b>	

# 設備投資・償却費 推移（連結ベース）



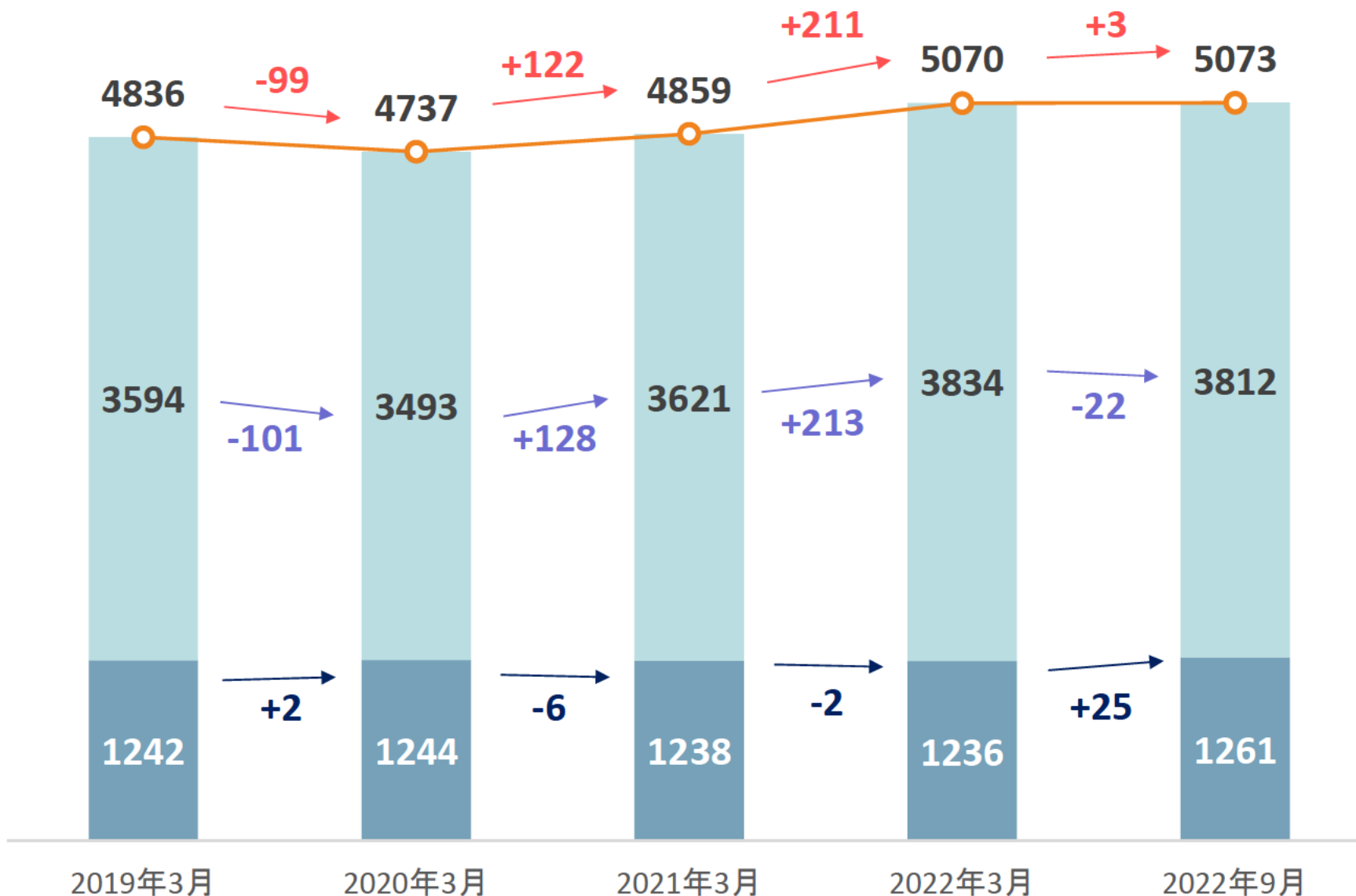
(※除く土地・建物・ソフトウェア投資)

## 海外生産比率・販売比率

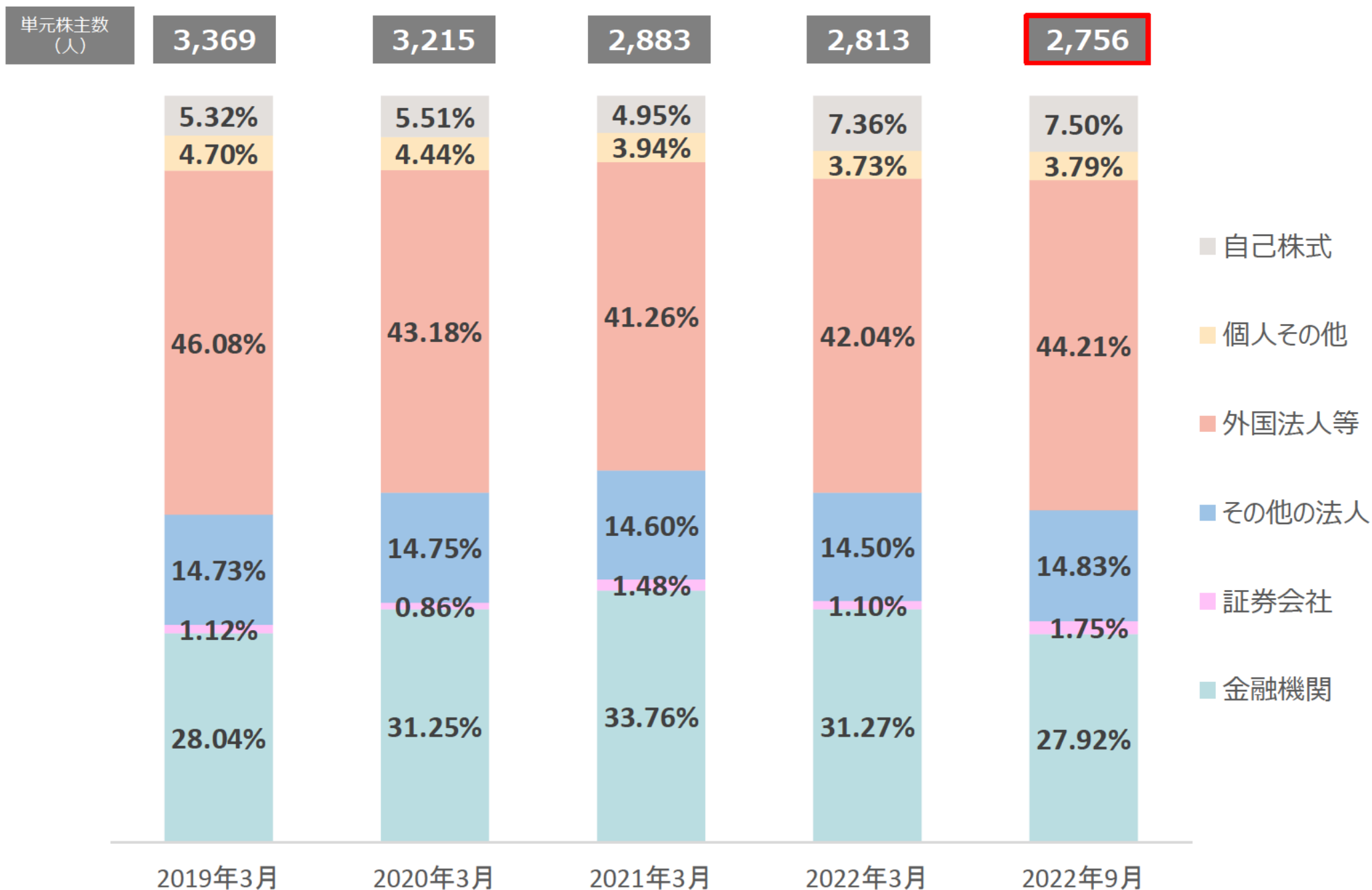


# 従業員数 推移 (有報ベース)

(単位：人) ■ 海外 ■ 国内



# 株式分布推移

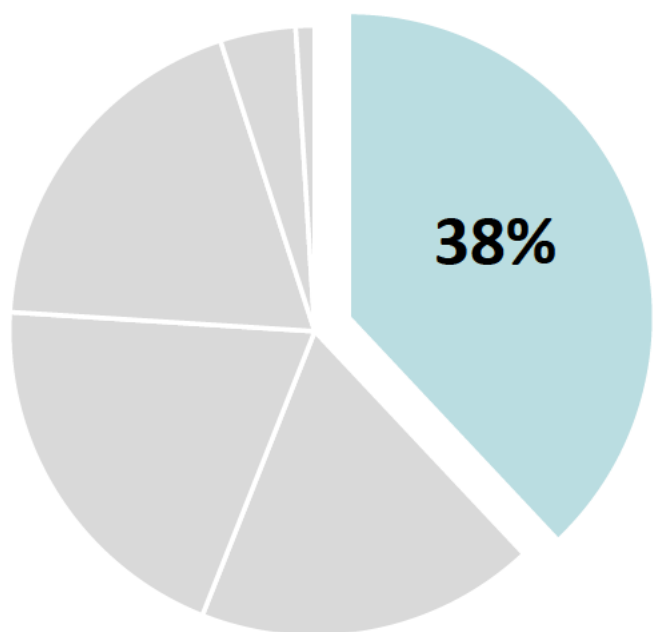


## 分野別売上 一般産機

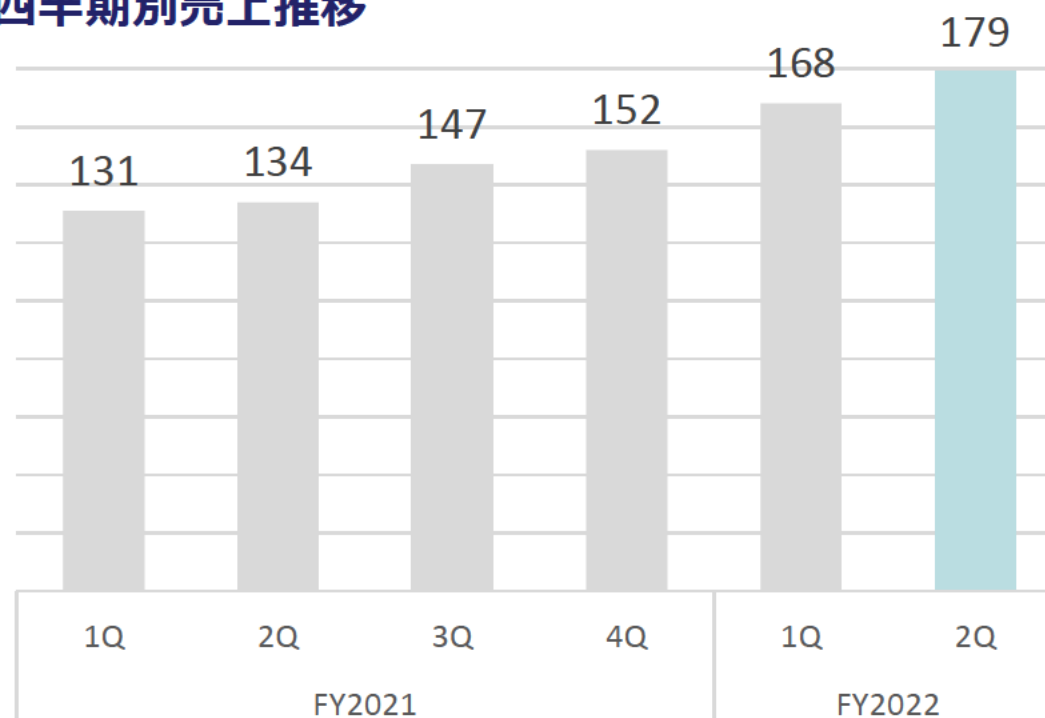
(金額：億円)

	2021年度			2022年度			前年比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2022.2Q累計 / 2021.2Q累計
売上高	131	134	265	168	<b>179</b>	<b>347</b>	<b>+31%</b>

### ● 2022年度2Q累計 構成比



### ● 四半期別売上推移



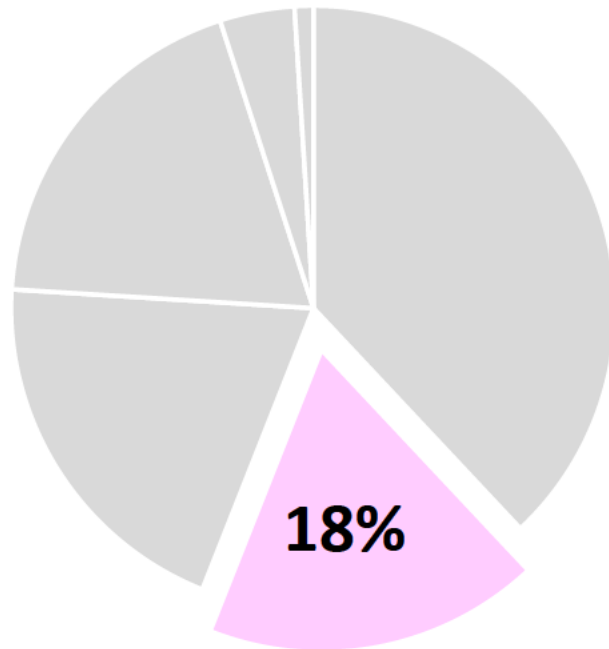
■ 受注残解消に向けて高いレベルで継続生産しており売上に貢献

## 分野別売上 スマートフォン・携帯端末

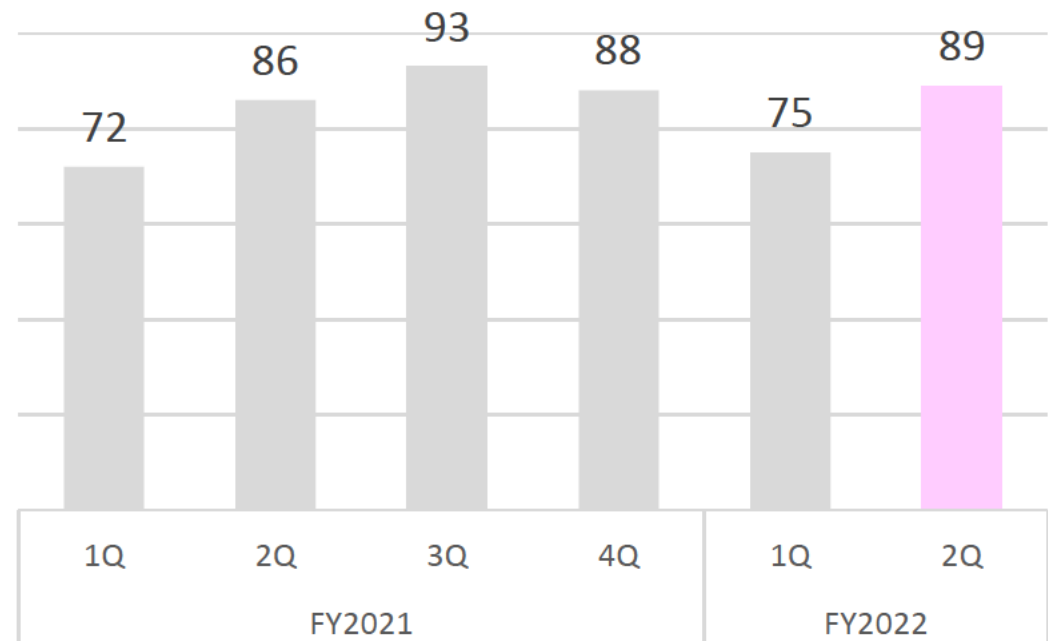
(金額：億円)

	2021年度			2022年度			前年比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2022.2Q累計 / 2021.2Q累計
売上高	72	86	158	75	<b>89</b>	<b>164</b>	<b>+4%</b>

### ● 2022年度2Q累計 構成比



### ● 四半期別売上推移



■ 1Qから2Qにかけて想定通りの上昇推移

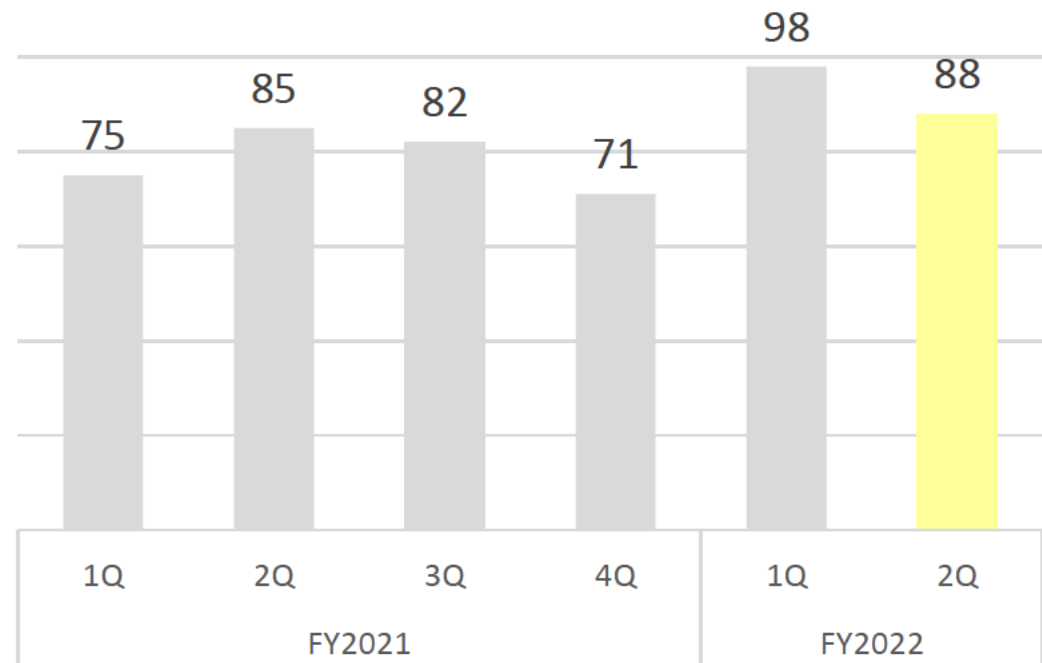
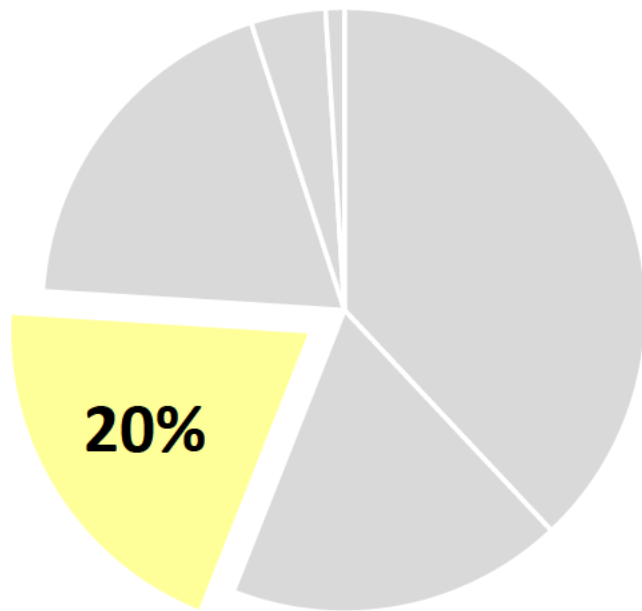
# 分野別売上 コンシューマ・モバイル機器

(金額：億円)

	2021年度			2022年度			前年比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2022.2Q累計 / 2021.2Q累計
売上高	75	85	160	98	<b>88</b>	<b>186</b>	<b>+16%</b>

## ● 2022年度2Q累計 構成比

## ● 1 四半期別売上推移



■ 顧客の生産調整の影響を受け1Q対比、減少



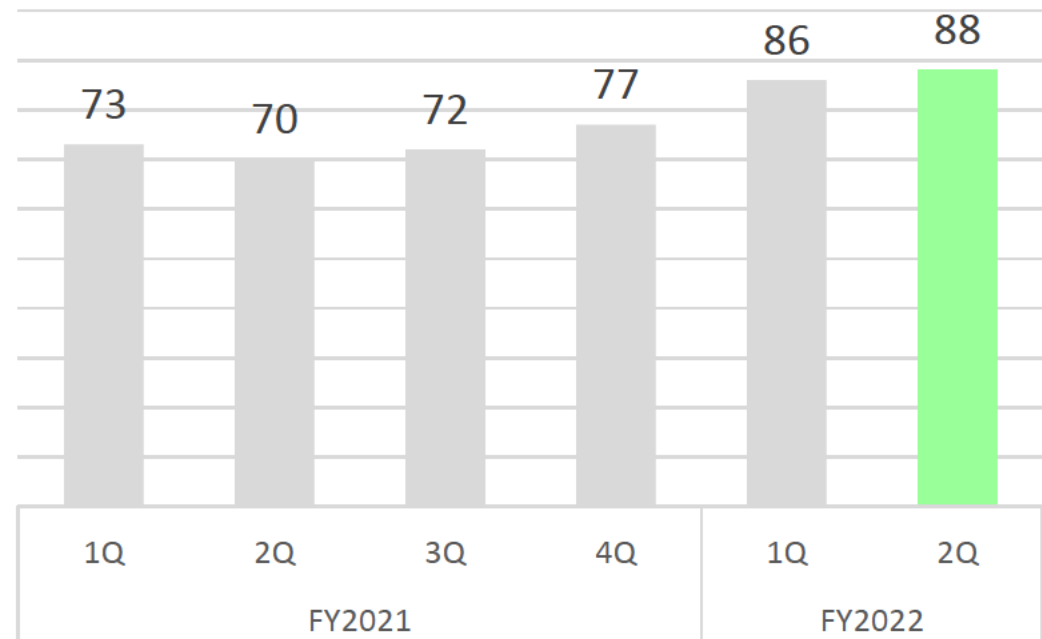
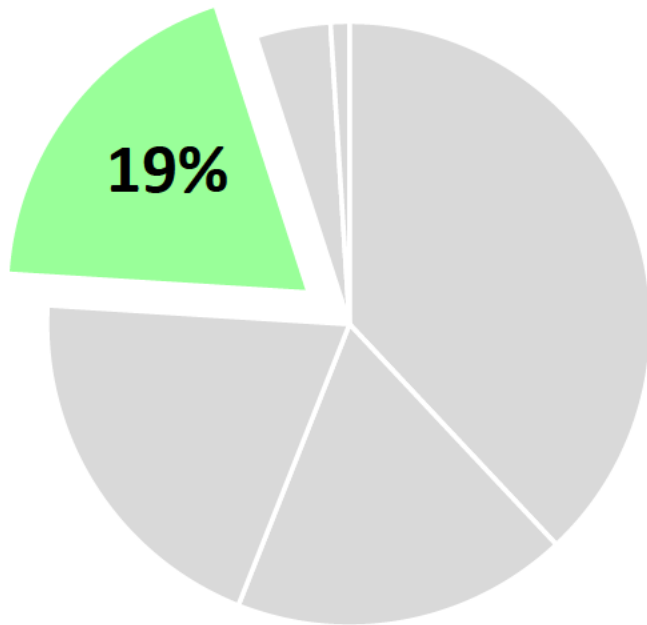
## 分野別売上 自動車・モビリティ関連

(金額：億円)

	2021年度			2022年度			前年比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2022.2Q累計 / 2021.2Q累計
売上高	73	70	143	86	<b>88</b>	<b>174</b>	<b>+22%</b>

### ● 2022年度2Q累計 構成比

### ● 四半期別売上推移



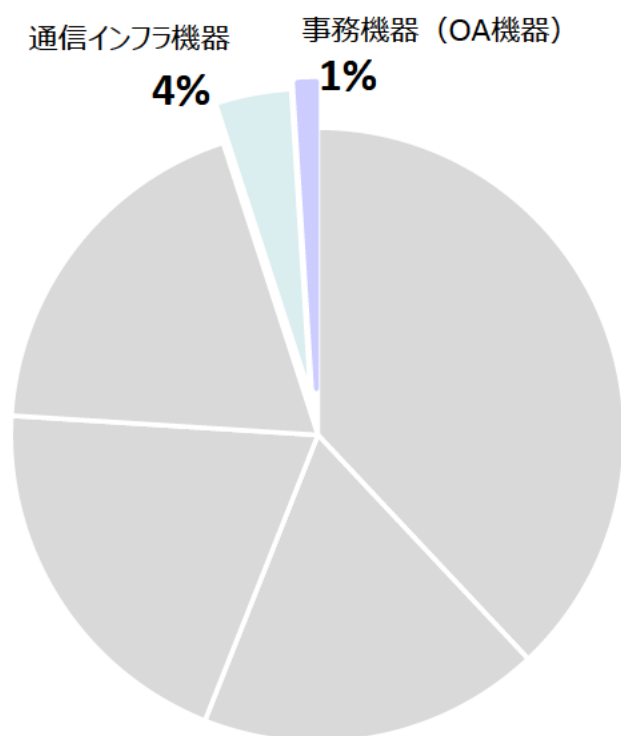
■ ADAS向け、パワートレイン向け等が堅調に推移

# 分野別売上 通信インフラ機器 / 事務機器

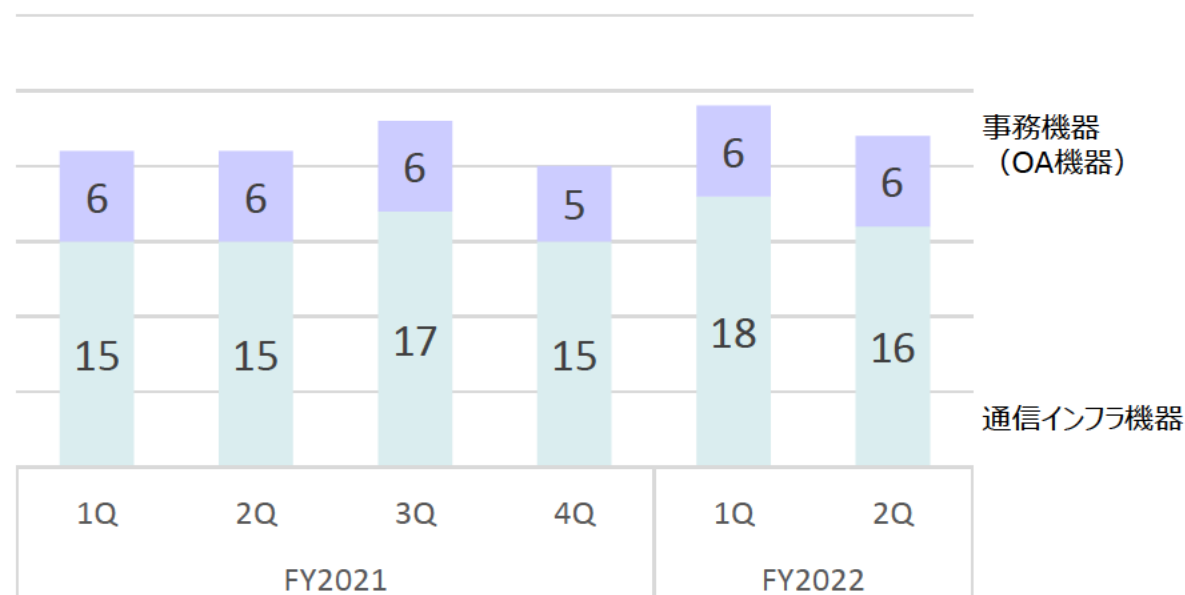
(金額：億円)

	2021年度			2022年度			前年比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2022.2Q累計 / 2021.2Q累計
通信インフラ機器	15	15	30	18	<b>16</b>	<b>34</b>	<b>+13%</b>
事務機器	6	6	12	6	<b>6</b>	<b>12</b>	<b>±0%</b>

## ● 2022年度2Q累計 構成比



## ● 四半期別推移



## 2022年3月期 業績予想（連結）

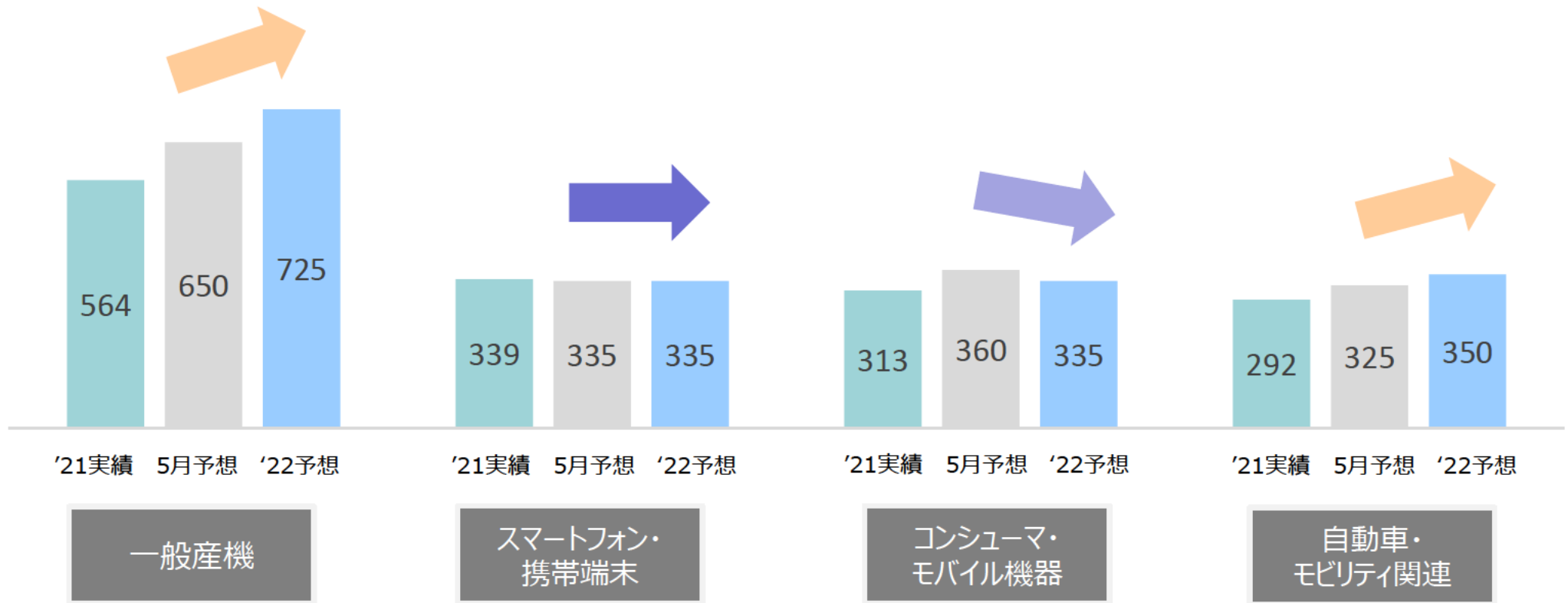
為替動向と産機・自動車向けビジネスが当初予想を上回る見込みのため2022.5の公表値を修正致します。

(金額：億円)

	2021年度 (2022/3月期) 実績		2022年度 (2023/3月期)			第2四半期累計 対前年実績		通期予想 対前年実績	
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計 実績	2022.5 公表値	今回修正 公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	791.9	1,636.7	<b>947.0</b>	1,800.0	<b>1,900.0</b>	+155.1	19.6%	+263.3	16.1%
売上原価率	54.7%	54.2%	<b>50.6%</b>	54.6%	<b>52.1%</b>				
<b>営業利益</b>	197.9	407.7	<b>271.7</b>	440.0	<b>500.0</b>	+73.8	37.3%	+92.4	22.7%
(%)	25.0%	24.9%	<b>28.7%</b>	24.4%	<b>26.3%</b>				
<b>税前利益</b>	203.8	430.8	<b>292.5</b>	450.0	<b>510.0</b>	+88.7	43.5%	+79.2	18.4%
(%)	25.7%	26.3%	<b>30.9%</b>	25.0%	<b>26.8%</b>				
<b>当期利益</b>	148.0	314.4	<b>206.4</b>	330.0	<b>360.0</b>	+58.4	39.5%	+45.6	14.5%
(%)	18.7%	19.2%	<b>21.8%</b>	18.3%	<b>18.9%</b>				
一株当たり 当期利益	—	885.39円	—	933.37円	<b>1,041.17円</b>			2021年度 実績	2022年度 予想 (今回)
一株当たり配当	160円	440円	220円	440円	<b>440円</b>	1US\$	112.38円	140.00円	
						1€	130.56円	140.00円	
連結配当性向	—	49.7%	—	47.1%	<b>42.3%</b>	100ウォン	9.64円	10.32円	

# 分野別 年間売上予想【アップデート】

(金額/億円)



2022年度 年間伸び率予想	2022.5月 予想	伸び率予想 アップデート
● 一般産機	+15%	+28%
● スマホ・携帯端末	-1%	-1%
● コンシューマ・モバイル機器	+15%	+7%
● 自動車・モビリティ関連	+11%	+19%

## 2021年度の売上拡大を起点に、さらなる飛躍を目指すための基盤強化策 (2022年度の進捗)

### 人財投資

育成の「深化元年」と位置づけ、制度改革とチャレンジを奨励する取り組み

- ① HRSらしさの追求(Hirose Philosophy再構築、従業員主体の“生き生きプロジェクト”)
- ② チャレンジを奨励する仕組み (評価制度刷新、360度評価 etc.)
- ③ 人財づくりをミッションとする専門部署の設立

具体取り組み

### ESG投資

社会課題対応に向けた投資

- ① カーボンニュートラルの推進  
「2027年度Scope1,2排出量60%削減 (2021年度比) 」目標に向けた投資
- ② 健康経営を目指し各種プログラム実施

### IT投資

HRSグループ全体で共通プラットフォーム構築(中期的に100億円～の投資)

- ① 次世代SCMの構築
- ② 設計情報のデジタル化/一元化
- ③ SFAを共通化しグローバルでの営業活動を可視化

## 育成の「深化元年」と位置づけ、制度改革とチャレンジを奨励する取り組み

- ① HRSらしさの追求(Hirose Philosophy再構築、従業員主体の“生き生きプロジェクト”)
- ② チャレンジを奨励する仕組み (評価制度刷新、360度評価 etc.)
- ③ 人財づくりをミッションとする専門部署の設立

### ① HRSらしさの追求

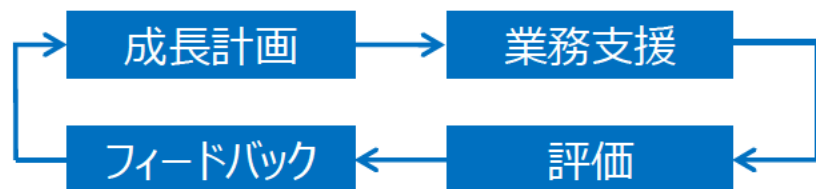


- ・Philosophy委員会の発足
- ・HIROSE Philosophyのアップデート
- ・グローバルでの伝承活動

### ② チャレンジを奨励する仕組み

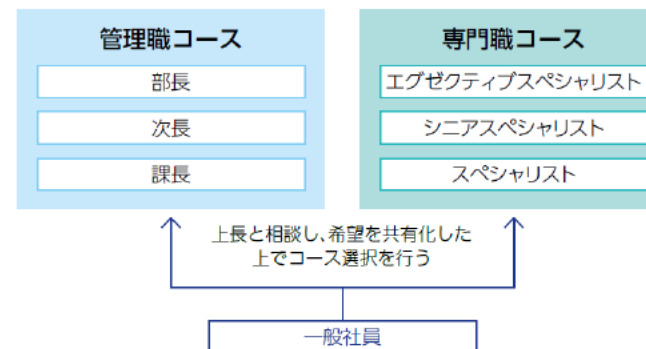
#### 新人事制度1 コミュニケーションの活性化と人づくりサイクル

全てのフェーズで上長・部下間での双方向のコミュニケーションを通じて、**人づくりサイクル**を回す



#### 新人事制度2 キャリアパスの複線化

活躍の道を複線化するため、**管理職コース**と**専門職コース**を導入



## 補足資料 (Appendix)

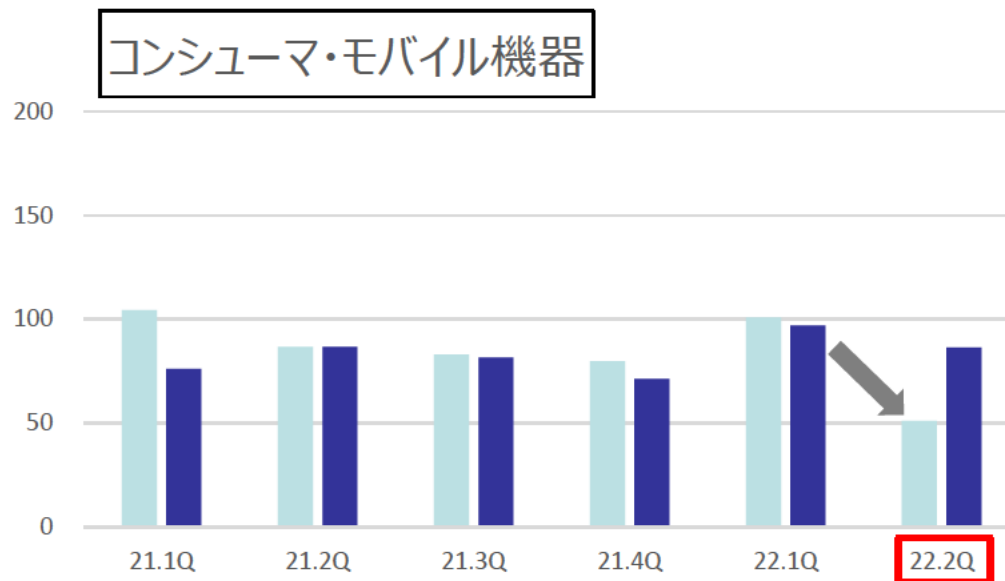
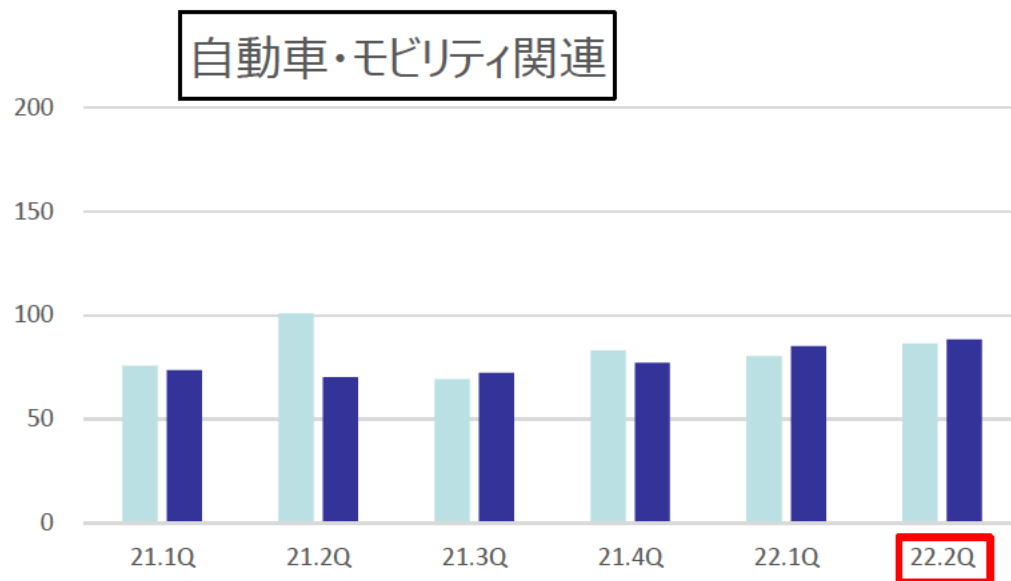
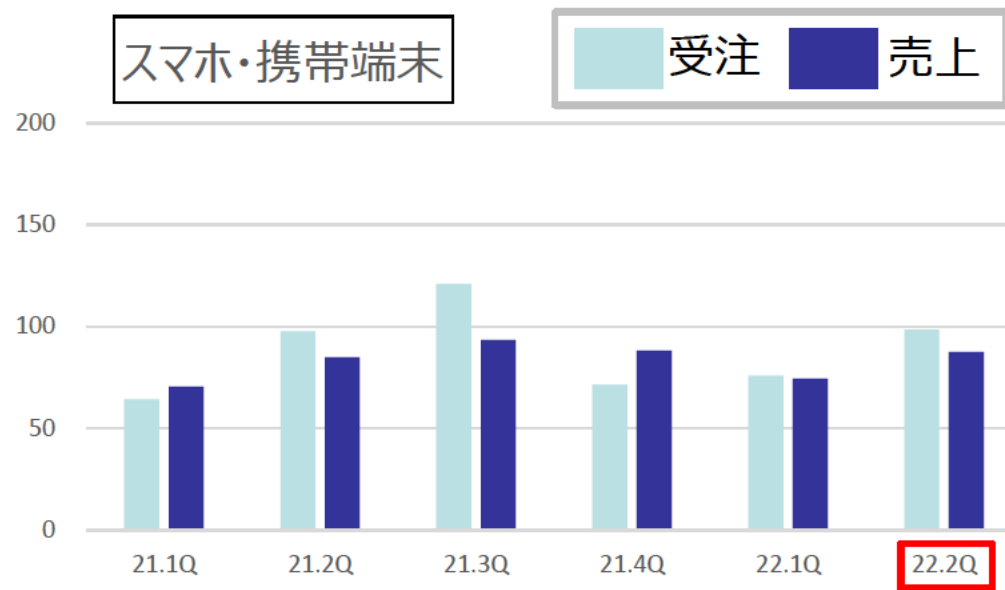
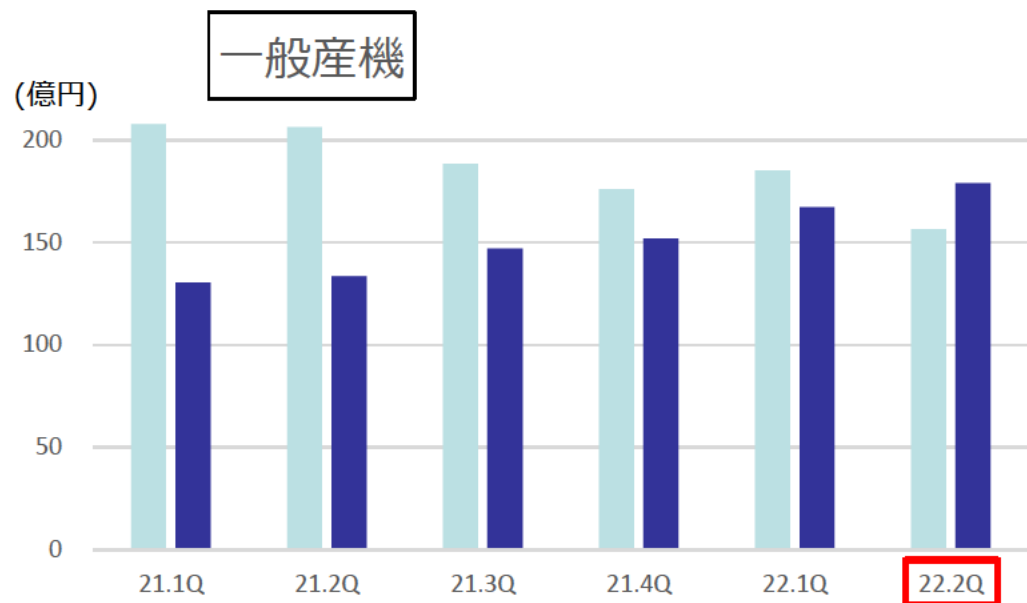
## 分野別 売上推移 概数 (四半期ベース)

(金額：億円)

	2020年度				2022年度		2022上期 分野 構成比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
一般産機	131	134	147	152	168	<b>179</b>	<b>38%</b>
スマホ・携帯端末	72	86	93	88	75	<b>89</b>	<b>18%</b>
コンシューマ・モバイル機器	75	85	82	71	98	<b>88</b>	<b>20%</b>
自動車・モビリティ関連	73	70	72	77	86	<b>88</b>	<b>19%</b>
通信インフラ機器	15	15	17	15	18	<b>16</b>	<b>4%</b>
OA機器	6	6	6	5	6	<b>6</b>	<b>1%</b>
<b>コネクタ計</b>	<b>372</b>	<b>395</b>	<b>416</b>	<b>409</b>	<b>451</b>	<b>467</b>	<b>100%</b>
その他	13	12	12	10	15	14	
<b>合計</b>	<b>384</b>	<b>407</b>	<b>428</b>	<b>418</b>	<b>466</b>	<b>481</b>	



# 分野別 受注・売上 推移 (四半期ベース)



**HRS** HIROSE  
ELECTRIC  
CO.,LTD.